

上意東 研修センターだより

令和四年八月一日

187号

発行責任者
上意東地域づくり協議会会長
森廣光彦

東出雲おちらと村
0852-52-7888
(FAX兼)
Mail: ochirato@theia.ocn.ne.jp

ラインID
ochirato



※ご意見等はこちらまで

あらすじ

松江市東出雲町在住、中学2年生のヨシヒコ達は「地域の魅力発表会」をすることに。

おじいちゃんやんが地域の特産品「西条柿」農家であることをきっかけに、ヨシヒコ達は上意東の西条柿について調べることに決めた。

なぜ、柿がこの地へ来たのか？

小さな田舎から、どうして全国に広まっていったのか？

そして「胎色の宝石」の秘密？

おじいちゃんから次々と明かされる上意東の柿のルーツを、ヨシヒコ達と一緒に紐解きます。

演劇 「ヨシヒコの宿題」 高校生が熱演！



7月2日(土) 『演劇「ヨシヒコの宿題」』が研修センターで公演されました。

この演劇は、松江・安来市内の高校(6校)の演劇部に在籍する13名の高校生で結成された「あめいろ」によって行われたものです。東出雲出身の高校生が中心となり、東出雲の特産品「干柿」をテーマにし、取材、脚本、演出を高校生が行うということで、公演前から注目されていました。

「あめいろ」が 結成されたわけ

令和元年8月に、青少年育成の会主催の東出雲・八雲中学校合同の研修会がこちらと村で行われ、当時東出雲中学校3年生の農口雛子さんが参加しており、竹本さん(元おちらと村地域づくりコーディネーター/現・アゼリア会長)が講師を務めていました。

2年経った昨年の秋、高校の部活動の取材で再びおちらと村を訪れた農口さん。その中で、「コロナの影響で学校行事が中止や自粛という状況になっている。今しかない学校生活を素直に楽しめずもどかしい思いをしているみんなにも楽しんでほしい。若い人たちが楽しめるイベントをしたい。」という胸の内を話し、そのことが竹本さんにも届き、一緒に企画をすることになりました。その後、同級生の野々内詩織さんも仲間に加わり、チーム「あめいろ」を立ち上げました。

地元の良さを 演劇にして発信

地元の良さをアピールしたいと注目したのが干し柿。その中でなぜ上意東の干し柿が特産品になったのか、そのルーツを辿ることにし、演劇部所属の野々内さんの発案により、演劇にして地元の良さを発信することになりました。市内の高校の演劇部にも声をかけ、13名の高校生による活動が始まりました。

地元の方に話を伺ったり資料を調べたりしていくと、今から450年前の毛利軍と尼子軍の戦いと深い繋がりがわかることがわかり、そのことを踏まえ台本を作り、取材、脚本、演出全てを高校生たちの手で作りました。学業とコロナ禍で思うような練習ができない中、当日は、多くの方たちの前で精一杯力を出し切って演技

をしていました。

東出雲中学校ボランティア部が演劇祭を盛り上げる

演劇祭当日、地元東出雲中学校のボランティア部が受付や駐車場案内役等で活躍をしました。はじめは緊張していましたが、コロナ禍ならではの受付をスムーズに行い、来られた方たちにも積極的に声をかけていました。



東出雲中学校ボランティア部のみなさん



上定市長の挨拶

演劇祭終了後の集合写真
あめいろ
東出雲中学校ボランティア部

演劇「ヨシヒコの宿題」の開催にあたり、ご協力頂きましたこと、厚く御礼申し上げます。

猛暑の中ではありましたが、延べ160名の皆様にご来場頂きました。私たちの絆も深まり、今後も何か企画をしたいと話合っているところです。

貴重な経験をさせていただき、ありがとうございます。

あめいろ代表 農口雛子

おちらと村で 展示会を同時開催

高校生の演劇祭にあわせて、おちらと村ふれあい館では、写真展「ほし柿の起源」「ほし柿の今」を行いました。



安来市教育委員会文化財課より尼子のパネルをお借りしました。



上意東の干し柿にまつわる写真を展示しました。

にぎやかに15回目の

柿の木のオーナー会を開催

「畑」の柿のファンを増やするために開催してきました。「柿の木オーナー会」を7月2日(土)午前10時から畑公会堂で開催しました。遠くは兵庫県とか岡山県津山市から25名のオーナーさんに集まってもらいました。組合員もコロナ過であったことから、3年ぶりの開催となり、ご来場の懐かしい笑顔のオーナーさん、「お久しぶり、お元気でしたか」などと和やかな挨拶を交わしました。

「畑」の柿のファンを増やするために開催してきました。己紹介を行いました。「永年、畑に通い美味しい柿を楽しんでいるが、併せて畑地区の独特の景観と自然。そして、農家の優しさが魅力だ」などの発言もありました。さらに、今年の西条柿の生育状況やほし柿の作り方、販売戦略などをお話ししました。

一通りの情報交換が終わったところで、せみ時雨の炎天下の屋外に出てください、柿の木の提供農家の案内で、

上意東集団健診

6月29日(水)、上意東集団健診が研修センターで行われ、65名(内 上意東36名)が受診をしました。当日は感染症対策と受診時間の予約制により、混雑もなくスムーズに一般健診、がん検診等が短時間で済み、午前中で集団健診を終えることができました。

今年は、上意東地区外の受診者が昨年より増加しました。この健診を受け、8月18日(木)の午前中に「結果返し」がありますのでお出かけください。

集団健診の様子
JA島根厚生連にお世話になりました



それぞれのオーナーになられた柿の木と対面してもらいました。

そして、秋の収穫の時期に再び元気で足を運んでもらうようお願いし、各オーナーさんにはほし柿などをお土産に家路についてももらいました。

なお、当日開催されました上意東の柿のルーツを演題にした演劇を鑑賞していただいた多くのオーナーさんもありました。

(畑ほし柿生産組合)

上意東特産 キュウリの収穫 始まる

上意東のキュウリの歴史は、約50年です。栽培農家は、かつては20数軒ほどあったようですが、現在は6軒です。

6月に植えて10月まで収穫が続きます。



奥組Mさんの圃場

夏休みを前に 環境整備

7月17日(日)、NPO法人かみいとうが、おちらと村周辺と河川敷の環境整備を行いました。

子どもたちに人気の川遊び。夏休みに入るとより多くの子どもたちが遊びに来ると予想されます。楽しく且つ安全に遊んでもらいたいと思います。



おちらと村横の意東川

スマホ教室で 「メールによる 詐欺」について学ぶ

7月19日(火)、3回目のスマホ教室がおちらと村で行われ、内容は、スマホによる詐欺の実態についてでした。

送られてきたメールで『あやしい』と気づくべき点を学び、実際に詐欺のメールに添付してあるアドレスをクリックした場合どうなるかを見せていただきました。

「高齢者が詐欺にあいやすい」とよく言われますが、実際には、子育て世代や10代の若者も被害にあっているそうです。

金刀比羅宮夏祭り 茅の輪くぐりで コロナ祓い

7月10日(日)、金刀比羅宮夏祭りが行われました。



「蘇民将来」と唱えごとをしながら、8の字で三回くぐります。

詐欺の仕組みを知ることができ、被害を防止することができると話されました。

次回のスマホ教室は、8月18日(木)14時からで、初心者向けの実技講習となります。電話やメール、検索などを行う際に、わからないことがある方はぜひご参加ください。

お申し込みは、おちらと村までお願いします。

上意東の行事予定

8月18日(木)

- ・上意東集団健診結果返し(上意東研修センター和室)
- ・スマホ教室14時~16時(おちらと村)

9月

- 13日(火)13時~16時 特定計量器の定期検査(研修センター)

6月の出来事

- 7日(火) 竹灯籠づくり ●20日(月) おちらと村スマホ教室 ●22日(水)まで 手づくり館ボランティアスタッフによる作品展 ●29日(水) 上意東集団健診

畑 森廣紀元様

ご家族様のご逝去に伴う香典返しとして「地域づくりの為に活用ください」とご寄付を頂きました。ありがとうございました。

(NPO法人かみいとう)